

令和3年度

# 学生によるオレンジリボン運動

## 中村学園大学 実施報告書



実施主体 中村学園大学教育学部・那須ゼミ

実施内容 学内図書館でのオレンジリボン運動啓発活動（ディスプレイ設置）

### ①事前に取り組んだ内容

- ・ゼミ活動時、代表者がゼミメンバーに対しオレンジリボン運動についての説明を行い、児童虐待や活動内容の共通理解を図った。
- ・本ゼミで今後どのような啓発活動を行っていくか各事案を持ち寄り、意見を出し合い、コロナ禍における状況下で実現・実施できる内容として、下記の写真のようなディスプレイによる啓発活動を選択した。
- ・代表者を窓口とし、活動日程の調整や図書館担当者との協議を重ね、大学当局への理解と協力を求め、図書館にディスプレイを設置できるスペースを確保した。
- ・併せて、「子どもの権利」に関する図書20冊程度をリストアップし図書館に相談したところ、全冊購入していただくことになった。

### ②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・図書館にポスターとパンフレットを掲示した。
- ・図書館にオレンジリボン運動・児童虐待に関するスペースを作り、子どもの権利や人権などの本を展示・掲示した。（代表者が所属する教育学部以外の学部学生や地域の人が使用する図書館で取り組みを行うことで、多くの人に関心を持ってもらうねらいがあった。）
- ・展示してある子どもの権利や人権などの本を各自読み、オリジナルのポップを作成、それぞれの本の横に設置した。
- ・参加するゼミ生は、自分たちで手作りしたオレンジリボンを日頃から身に付けるようにした。

### ③オレンジリボン運動を終えて…

今年度のオレンジリボン運動の活動目的として、代表者が所属する「教育学部のみならず、いずれ親となる他学部にも発信を…」を掲げました。教育学部の学生は授業で子どもの人権や児童虐待について知る機会がありますが、他学部ではなかなかその機会がないため、この活動を通して少しでも子どもの権利や児童虐待について理解をしてもらえたのではないかと考えます。

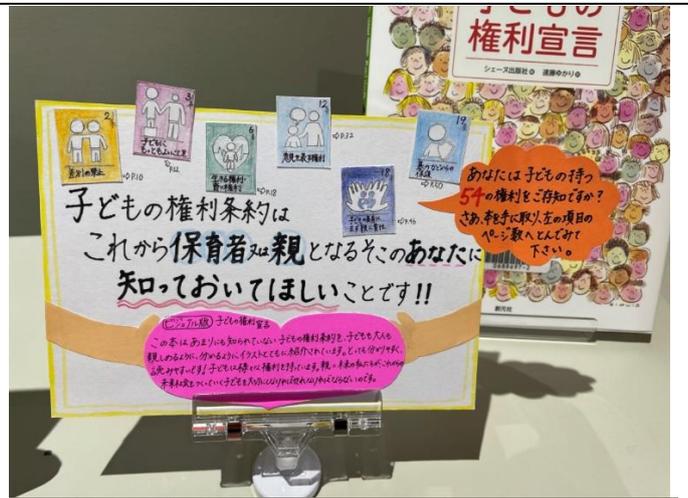
### 写真



→図書館でのオレンジリボン運動啓発コーナー

ゼミ生で活動を考えたり、実施したりするとき、また一から子どもの権利や児童虐待について考えることができるきっかけとなり、活動を通して那須ゼミ生も学びが深まりました。図書館で実施したオレンジリボン運動の啓発用ディスプレイやポップの設置では、人に想いを伝えることの難しさを実感し、良い経験となりました。

とはいえ、年間を見通した計画的な取り組みとはならなかったため、次年度も那須ゼミ一同、また少しずつオレンジリボン運動の啓発活動を継続して取り組んで参りたいと考えております。



→ゼミ生が作成したポップ



→図書館での「オレンジリボン運動」啓発活動



→ゼミ生の手作りによるオリジナルオレンジリボン!

3つの星は、子どもを真ん中に親(保護者)と社会(大人)をイメージして配置

【中村学園大学】 <https://www.nakamura-u.ac.jp/>